

年間授業計画

第四商業 高等学校（3学年用）

教科： 地理歴史科

科目 日本史探究

単位数： 3 単位

◆対象学年組： 3 学年 A 組～

E 組

◆教科担当者（ A～E組 ： 宇野 ）

◆使用教科書（ 第一学習社 『高等学校 日本史探究』 ）

◆教科 地理歴史科 の目標：

【知識及び技能】： 現代世界の地域的特色と日本及び世界について理解し、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的にまとめる技能を身につける。

【思考力、判断力、表現力等】： 地理や歴史に関する事象の意味や意義、特色や相互の関連を概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、議論する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】： 地理や歴史の諸事象について、より良い社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、他国の文化を尊重することの大切さについての自覚を深める。

◆科目 日本史探究 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数	
1 学 期	単元：日本のあけぼのと古代律令国家の形成 【知識及び技能】 日本における文化の始まりから律令国家の形成について、文献資料や考古学的資料を基に探究し、時間軸・空間軸の中でより深く理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 日本における文化の始まりから律令国家の形成について、政治・経済・文化・社会等の動きを、歴史的な観点からより深く探究し、他者に説明できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 歴史的な事象と現在の諸課題との関連について探究し、より良い社会を目指す姿勢を育む。	・指導事項 第1章 原始・古代の日本と東アジア 第1節 日本文化の黎明 第2節 ヤマト政権と律令国家の形成 第3節 律令国家の変容 ・教材 教科書・授業プリント・スマートスクール端末等	【知識・技能】 日本における文化の始まりから律令国家の形成について、文献資料や考古学的資料を基に深く探究し、時間軸・空間軸の中でより深く理解できたか。 【思考・判断・表現】 日本で成立した文化や律令国家の形成について、政治・経済・文化・社会等の動きを、歴史的な観点から深く探究し、それによって得た知見を他者に説明できるか。 【主体的に学習に取り組む態度】 歴史的な事象を現在の諸課題との関連において探究し、より良い社会を目指す姿勢を育めたか。	○	○	○	15
	定期考査			○	○		1
	単元：院政と武士の躍進 【知識及び技能】 院政と武士の躍進について、史実や資料を基に探究し、時間軸・空間軸の中でより深く理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 院政と武士の躍進について、政治・経済・文化・社会等の動きを、歴史的な観点からより深く探究し、他者に説明できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 歴史的な事象と現在の諸課題との関連について探究し、より良い社会を目指す姿勢を育む。	・指導事項 第2章 中世の日本と世界 第1節 中世への転換 第2節 鎌倉幕府の展開 第3節 室町幕府の展開 ・教材 教科書・授業プリント・スマートスクール端末等	【知識・技能】 院政と武士の躍進について、史実や考古学的資料を基に深く探究し、時間軸・空間軸の中でより深く理解できたか。 【思考・判断・表現】 院政と武士の躍進について、政治・経済・文化・社会等の動きを、歴史的な観点から深く探究し、それによって得た知見を他者に説明できるか。 【主体的に学習に取り組む態度】 歴史的な事象を現在の諸課題との関連において探究し、より良い社会を目指す姿勢を育めたか。	○	○	○	20
定期考査			○	○		1	
2 学 期	単元：織豊政権・江戸幕府の展開 【知識及び技能】 ・織豊政権の政治・経済政策、貿易や対外関係などを基に、中世から近世への時代の転換を理解する。 ・産業の発達、飢饉や一揆の発生、幕府政治の動揺と諸藩の動向、学問・思想の展開、庶民の生活と文化などを基に、幕藩体制の変容、近世の庶民の生活と文化の特色、近代化の基盤の形成を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・村落や都市の支配の変化、アジア各地やヨーロッパ諸国との交流の影響などに着目して、中世から近世の国家・社会の変容を多面的・多角的に考察し、表現する。 ・時代の転換に着目して、近世の特色について多面的・多角的に考察し、時代を通観する問いを表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 織豊政権の成立前後からの歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養う。	第3章 近世の日本と世界 第1節 近世への転換 第2節 幕藩体制の確立 第3節 幕藩体制の展開 第4節 社会の変化と幕府の対応 ・教材 教科書・授業プリント・スマートスクール端末等	【知識・技能】 ・織豊政権から17世紀初めの時期の政治・経済政策、文化、アジア各地やヨーロッパ諸国との貿易や対外関係の変化に関する基本的な知識を、複数の史・資料を活用し十分に理解できたか。 ・幕府政治の動揺と諸藩の動向、飢饉や一揆の発生、近世の庶民の生活と文化の特色、近代化の基盤の形成に関する基本的な知識を、複数の史・資料を活用し十分に理解できたか。 【思考・判断・表現】 織豊政権から幕藩体制下の政治・経済政策、アジア各地やヨーロッパ諸国との貿易や対外関係の変化に関する問いに対して、歴史的なものの見方・考え方に基いて思考し、複数の根拠を基に判断・表現できたか。 【主体的に学習に取り組む態度】 織豊政権から幕藩体制下の政治・経済政策、アジア各地やヨーロッパ諸国との貿易や対外関係の変化に関する問いに対して、粘り強く自らの答えを出そうとしているか。	○	○	○	20
	定期考査			○	○		1
	単元：近代国家の形成・大正デモクラシーと第一次世界大戦 【知識及び技能】 ・対外政策の変容と開国、幕藩体制の崩壊と新政権の成立などを基に、近世から近代への時代の時代の転換を理解している。 ・第一次世界大戦、社会運動の動向、政党政治などを基に、国民国家の形成、アジアや欧米諸国との関係の変容を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・欧米諸国の進出によるアジア諸国の変化、政治・経済の変化と思想への影響などに着目して、近世から近代の国家・社会の変容を多面的・多角的に考察し、表現している。 ・時代の転換に着目して、近代の特色について多面的・多角的に考察し、時代を通観する問いを表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・幕末の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	・指導事項 第4章 近現代の地域・日本と世界 第1節 近代への転換 第2節 近代国家の形成 第3節 国際関係の推移と近代産業の発展 第4節 第一次世界大戦と日本 ・教材 教科書・授業プリント・スマートスクール端末等	【知識・技能】 ・欧米諸国の進出によるアジア諸国の変化、それにともなう対外政策の変容と開国、幕藩体制の崩壊と新政権の成立に関する基本的な知識を、複数の史・資料を活用し十分に理解できたか。 ・日清・日露戦争の前後における条約改正の完成、韓国併合や満洲への勢力拡張などについて諸資料から情報を読み取り、この時期の戦争の様相や背景、日本の国際的地位の変化を理解している。第一次世界大戦が日本に及ぼした影響に着目して、大戦後の国際的な協調体制における日本の立場や対外政策の変化、ヴェルサイユ体制からワシントン体制に至る経過や中国・朝鮮における民族運動の高揚に着目し、国内で様々な社会運動が起こった背景と政党政治の成立について理解できたか。 【思考・判断・表現】 欧米諸国の進出によるアジア諸国の変化、それにともなう対外政策の変容と開国、幕藩体制の崩壊と新政権の成立に関する問いに対して、歴史的なものの見方・考え方に基いて思考し、複数の根拠を基に判断・表現できているか。 【主体的に学習に取り組む態度】 欧米諸国の進出によるアジア諸国の変化、それにともなう対外政策の変容と開国、幕藩体制の崩壊と新政権の成立に関する問いに対して、粘り強く自らの答えを出そうとしているか。	○	○	○	30
定期考査			○	○		1	
3 学 期	単元：第二次世界大戦・戦後の日本・現代の諸課題 【知識・技能】 脱植民地化とアジア・アフリカ諸国、冷戦下の地域紛争、先進国の政治の動向、軍備拡張や核兵器の管理などを基に、国際政治の変容を理解している。西ヨーロッパや東南アジアの地域連携、計画経済とその波及、日本の高度経済成長などを基に、世界経済の拡大と経済成長下の日本の社会を理解している。 【思考・判断・表現】 冷戦が各国経済に及ぼした影響、地域連携の背景と影響、日本の高度経済成長の背景と影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどとして、冷戦下の世界経済や地域連携の特徴、経済成長による生活や社会の変容などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 日本の高度経済成長期がおわるころの日本を中心に世界的な動きと関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うことができる。	第5節 軍部の台頭と戦争の長期化 第6節 日本の再建 第7節 経済の発展 第8節 経済大国とグローバル化 第5章 現代の日本の課題の探究 ・教材 教科書・授業プリント・スマートスクール端末等	【知識・技能】 脱植民地化とアジア・アフリカ諸国、冷戦下の地域紛争、先進国の政治の動向、軍備拡張や核兵器の管理などを基に、国際政治の変容を理解している。西ヨーロッパや東南アジアの地域連携、計画経済とその波及、日本の高度経済成長などを基に、世界経済の拡大と経済成長下の日本の社会を理解しているか。 【思考・判断・表現】 冷戦が各国経済に及ぼした影響、地域連携の背景と影響、日本の高度経済成長の背景と影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどとして、冷戦下の世界経済や地域連携の特徴、経済成長による生活や社会の変容などを多面的・多角的に考察し、表現しているか。 【主体的に学習に取り組む態度】 日本の高度経済成長期がおわるころの日本を中心に世界的な動きと関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うことができたか。	○	○	○	15
	定期考査			○	○		1

合計

105